

令和6年6月20日

# 交通事故概況

令和6年5月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

# 北海道の交通事故概況（5月末計上数（確定数））

## 1 令和6年5月末の交通事故発生状況

区分\内容	5月中		5月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	655	35	3,634	29
死者数（人）	7	-2	30	-3
傷者数（人）	767	57	4,346	82

[過去10年、5月中5月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
											10か年	5か年	
5月中死者	19	17	9	11	20	12	10	7	11	9	13	10	7
5月末死者	61	60	52	41	56	42	44	39	38	33	47	39	30
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	—

都道府県別（5月中）

順位	1		3		5		11	
都道府県名	大阪	埼玉	東京	千葉	茨城		北海道	
死者数	14		13		12		7	

都道府県別（5月末）

順位	1		3		4		5		11	
都道府県名	東京		千葉		愛知		大阪		兵庫	
死者数	60		56		46		44		30	

## 2 交通死亡事故の発生状況

### (1) 5月中の死亡事故（死者7人）

- 事故類型別：車両単独が3人（42.9%）、人対車両が2人（28.6%）
- 道路別：市町村道が4人（57.1%）、国道が2人（28.6%）
- 地形・道路形状別：市街地交差点、非市街地直線、非市街地カーブが各々2人（28.6%）
- 発生時間別：12～14時が3人（42.9%）、8～10時が2人（28.6%）
- 第一当事者年齢別（1当原付以上）：高齢運転者が4人（57.1%）
- 第一当事者違反別（1当原付以上）：前方不注意が2人（28.6%）
- 死者年齢別：高齢の死者が3人（42.9%）、15歳以下の死者が2人（28.6%）

### (2) 5月末の死亡事故（死者30人）

- 事故類型別：
  - ・ 人対車両が13人43.3%（うち前方不注意が3人23.1%、最高速度が2人15.4%）
  - ・ 車両単独が8人26.7%（うち前方不注意が4人50.0%）
  - ・ 正面衝突が5人16.7%（うち過労運転によるもの、前方不注意が各々2人40.0%）
- 道路別：
  - ・ 道道が12人40.0%（うち人対車両が5人41.7%、正面衝突が4人33.3%）
  - ・ 市町村道が8人26.7%（うち人対車両が6人75.0%、車両単独が2人25.0%）
  - ・ 国道が6人20.0%（うち車両単独が3人50.0%）
- 地形・道路形状別：
  - ・ 非市街地直線が11人36.7%（うち最高速度、前方不注意が各々3人27.3%）
  - ・ 市街地交差点が10人33.3%（うち最高速度、信号無視が各々2人20.0%）
- 発生時間別：
  - ・ 10～12時が6人20.0%（うち正面衝突が3人50.0%、車両単独2人33.3%）
  - ・ 12～14時が6人20.0%（うち車両単独が4人66.7%）
- 第一当事者年齢別（1当原付以上）：
  - ・ 高齢運転者による死者が13人43.3%（うち車両単独が6人46.2%、正面衝突が3人23.1%）
  - ・ 50歳代運転者による死者が5人16.7%（うち正面衝突が2人40.0%）
- 第一当事者違反別（1当原付以上）：
  - ・ 前方不注意が10人33.3%（うち車両単独が4人40.0%、人対車両が3人30.0%）
  - ・ 最高速度が5人16.7%（人対車両が2人40.0%）
- 死者年齢別：
  - ・ 高齢の死者が20人66.7%（うち人対車両が8人40.0%、車両単独7人35.0%）
  - ・ 50歳代の死者が4人13.3%（うち人対車両が2人50.0%）
- シートベルト非着用者：
 

自動車（二輪を除く）乗車中の死者13人中、シートベルト非着用者は6人（46.2%）であり、そのうち4人（66.7%）がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

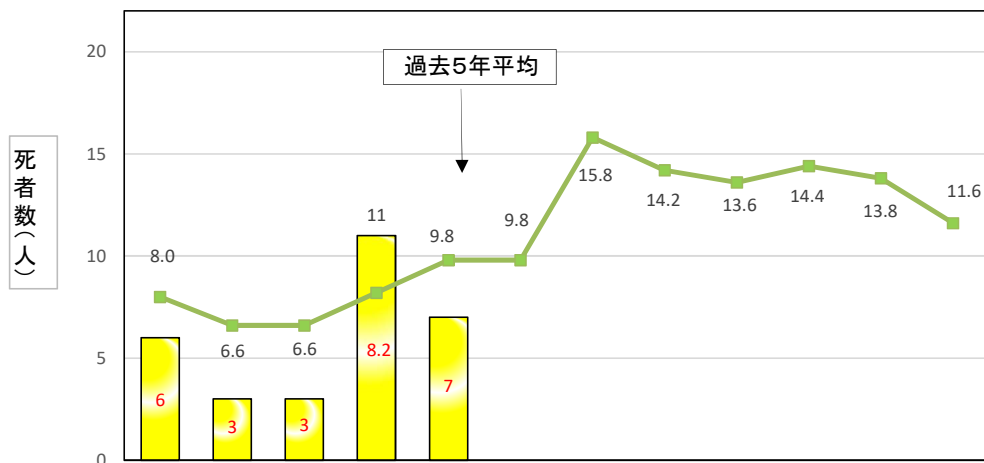
(3) 方面別発生状況

5月中の死者数は、札幌方面が3人(42.9%)、函館方面、旭川方面、釧路方面、北見方面が各々1人(14.3%)となっている。  
 5月末の死者数は、札幌方面が15人(50.0%)、旭川方面が6人(20.0%)、北見方面が4人(13.3%)、函館方面が3人(10.0%)、釧路方面が2人(6.7%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数			
		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比		
5月中	全道	655	35	7	-2	767	57	5月末	全道	3,634	29	30	-3	4,346	82
	札幌方面	485	24	3	-3	571	36		札幌方面	2,747	38	15	-5	3,327	129
	函館方面	54	13	1		63	20		函館方面	208	-4	3	2	230	-18
	旭川方面	54	10	1		64	14		旭川方面	297	24	6	1	367	44
	釧路方面	43	-16	1	1	45	-21		釧路方面	303	-11	2	-1	332	-37
	北見方面	19	4	1		24	8		北見方面	79	-18	4		90	-36

(4) 月別発生状況の推移

5月中の死者数は7人で過去5年平均9.8人を下回っている。  
 5月末の死者数は30人で過去5年平均39.2人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6	3	3	11	7								30
年間累計	6	9	12	23	30								
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	132.4
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	

(5) 都道府県別死者数

5月中は大阪府、埼玉県が各々14人で最も多く、次いで東京都、千葉県が13人、茨城県が12人、北海道は7人で11位となっている。

5月末は東京都、千葉県が各々60人で最も多く次いで、愛知県が56人、大阪府が46人、兵庫県が44人、北海道は30人で11位となっている。

区分\都道府県	大阪	埼玉	東京	千葉	茨城	神奈川	愛知	兵庫	新潟	群馬	全国	北海道
5月中死者数	14	14	13	13	12	11	8	8	8	8	206	7
ワースト順位	1	1	3	3	5	6	7	7	7	7	-	11
前年比	0	3	6	4	4	2	-7	2	5	-1	-2	-2
増減率(%)	0.0	27.3	85.7	44.4	50.0	22.2	-46.7	33.3	166.7	-11.1	-1.0	-22.2

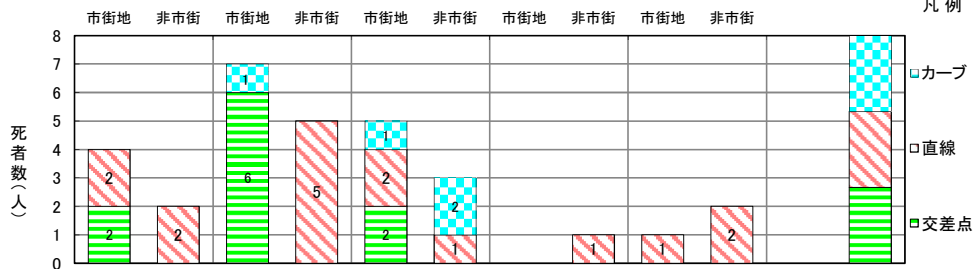
区分\都道府県	東京	千葉	愛知	大阪	兵庫	神奈川	茨城	埼玉	福岡	広島	全国	北海道
5月末死者数	60	60	56	46	44	43	39	38	36	31	984	30
ワースト順位	1	1	3	4	5	6	7	8	9	10	-	11
前年比	16	12	-7	-25	5	-1	1	-1	-4	1	-21	-3
増減率(%)	36.4	25.0	-11.1	-35.2	12.8	-2.3	2.6	-2.6	-10.0	3.3	-2.1	-9.1

### 3 死亡事故の特徴

#### (1) 道路別

道道が12人(40.0%)、次いで市町村道が8人(26.7%)、国道が6人(20.0%)となっている。

- ・ 道道は市街地交差点が6人(50.0%)、非市街地直線が5人(41.7%)
- ・ 市町村道は市街地交差点、市街地直線、非市街地カーブが各々2人(25.0%)
- ・ 国道は市街地交差点、市街地直線、非市街地直線が各々2人(33.3%)

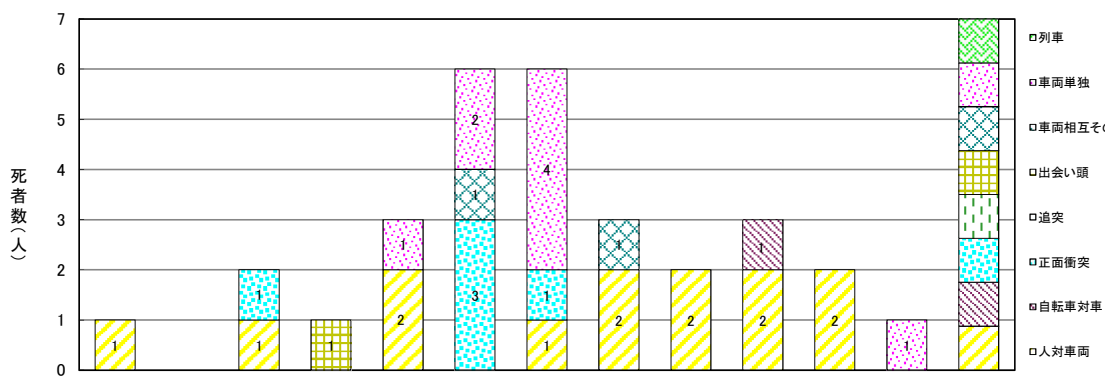


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	6	12	8	1	3	30
構成率(%)	20.0	40.0	26.7	3.3	10.0	100.0
過去5年構成率	38.6	22.3	31.0	2.2	6.0	100.0

#### (2) 時間別

10~12時、12時~14時が各々6人(20.0%)となっている。

- ・ 10~12時は正面衝突が3人(50.0%)、車両単独が2人(33.3%)
- ・ 12~14時は車両単独が4人(66.7%)

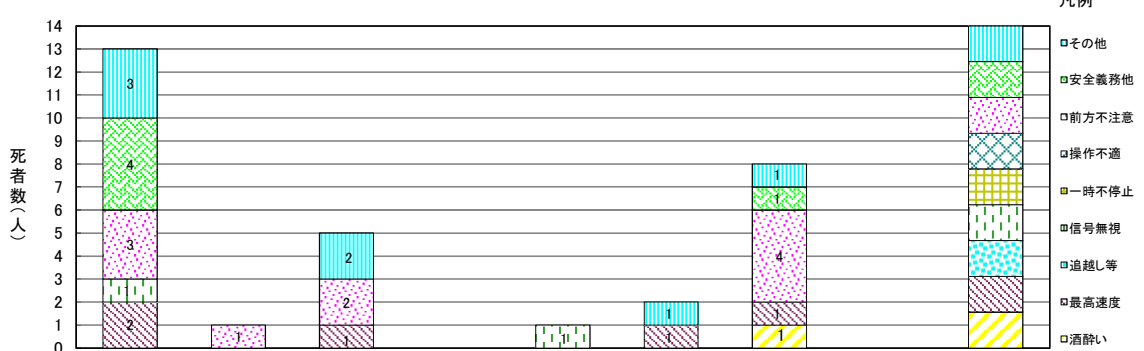


区分\時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
死者数	1		2	1	3	6	6	3	2	3	2	1	30
構成率(%)	3.3		6.7	3.3	10.0	20.0	20.0	10.0	6.7	10.0	6.7	3.3	100.0
過去5年構成率	4.3	1.6	2.2	6.5	9.8	13.6	15.2	15.8	8.2	9.2	8.7	4.9	100.0

#### (3) 事故類型別

人対車両が13人(43.3%)、車両単独が8人(26.7%)、正面衝突5人(16.7%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が3人(23.1%)、最高速度が2人(15.4%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が4人(50.0%)
- ・ 正面衝突は、過労運転(その他に含まれる)、前方不注意が各々2人(40.0%)



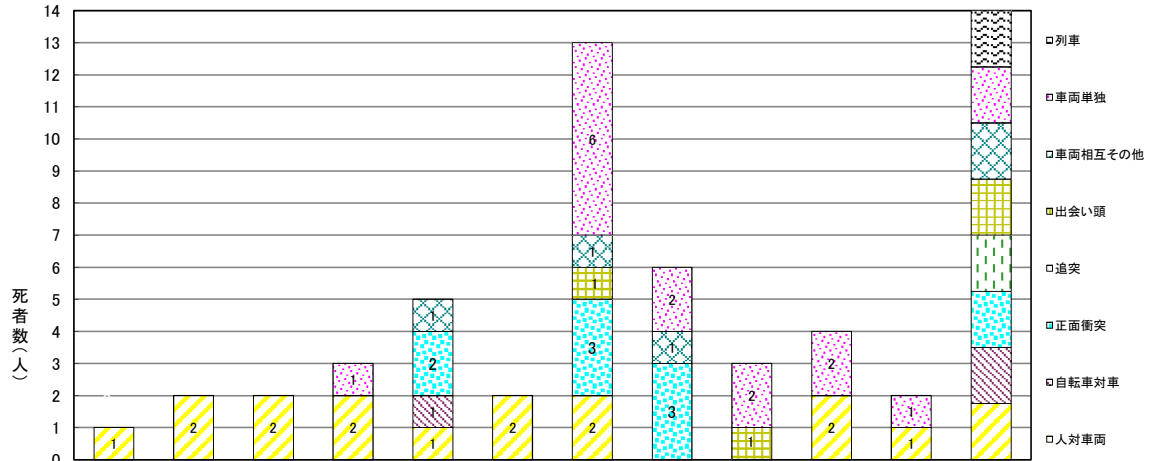
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	13	1	5	1	1	2	8	30	
構成率(%)	43.3	3.3	16.7		3.3	6.7	26.7	100.0	
過去5年構成率	31.5	3.3	20.1	0.5	10.3	4.9	28.8	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別 (第1当原付以上)

高齢運転者による死者が13人(43.3%)、50歳代運転者による死者が5人(16.7%)となっている。

- ・高齢運転者は、車両単独が6人(46.2%)、正面衝突が3人(23.1%)
- ・50歳代運転者は、正面衝突が2人(40.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	1	2	2	3	5	2	13	6	3	4	2	30
構成率 (%)	3.3	6.7	6.7	10.0	16.7	6.7	43.3	20.0	10.0	13.3	6.7	100.0
過去5年構成率	4.9	4.3	7.1	20.7	13.6	8.7	36.4	11.4	6.5	18.5	4.3	100.0

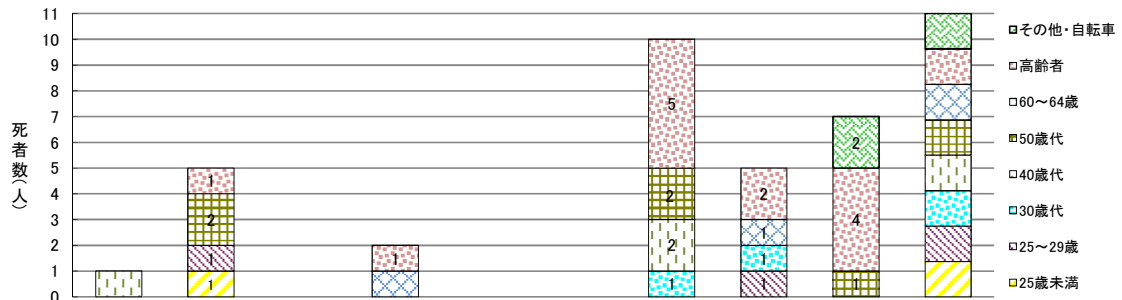
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別 (第1当原付以上)

前方不注意によるものが10人(33.3%)、次いで最高速度が5人(16.7%)となっている。

- ・前方不注意は、高齢運転者による死者が5人(50.0%)、40歳代、50歳代の運転者による死者が各々2人(20.0%)
- ・最高速度は、50歳代の運転者による死者が2人(40.0%)

凡例



区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数	1	5		2		10	5	7	30	
構成率 (%)	3.3	16.7		6.7		33.3	16.7	23.3	100.0	
過去5年構成率		1.1	11.4	6.5	4.9	2.2	11.4	33.2	29.3	100.0

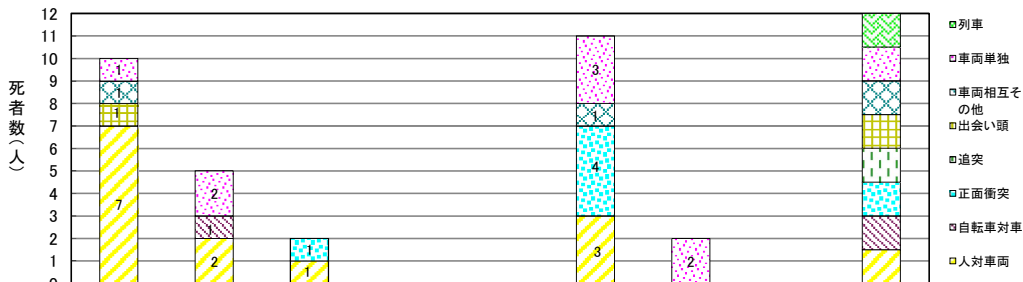
注 「その他」に1当自転車、歩行者を含を含む。

(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が11人(36.7%)、次いで市街地交差点が10人(33.3%)となっている。

- ・非市街地直線は、正面衝突が4人(36.4%)、人対車両、車両単独が各々3人(27.3%)
- ・市街地交差点は、人対車両が7人(70.0%)

凡例



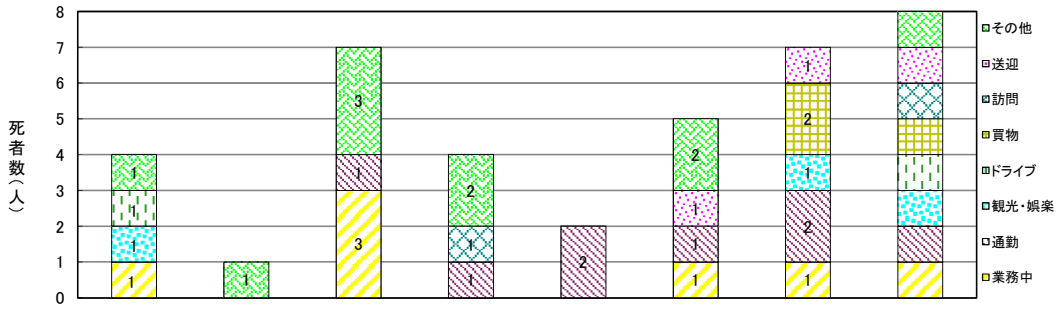
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	10	5	2	17	11	2	13	30	
構成率 (%)	33.3	16.7	6.7	56.7	36.7	6.7	43.3	100.0	
過去5年構成率	31.5	16.8	3.3	51.6	6.0	28.8	13.6	48.4	100.0

(7) 曜日別

火曜日、土曜日が各々7人(23.3%)となっている。

- ・火曜日は、業務中が3人(42.9%)、通院が2人(28.6%)
- ・土曜日は、通勤、買物が各々2人(28.6%)

凡例



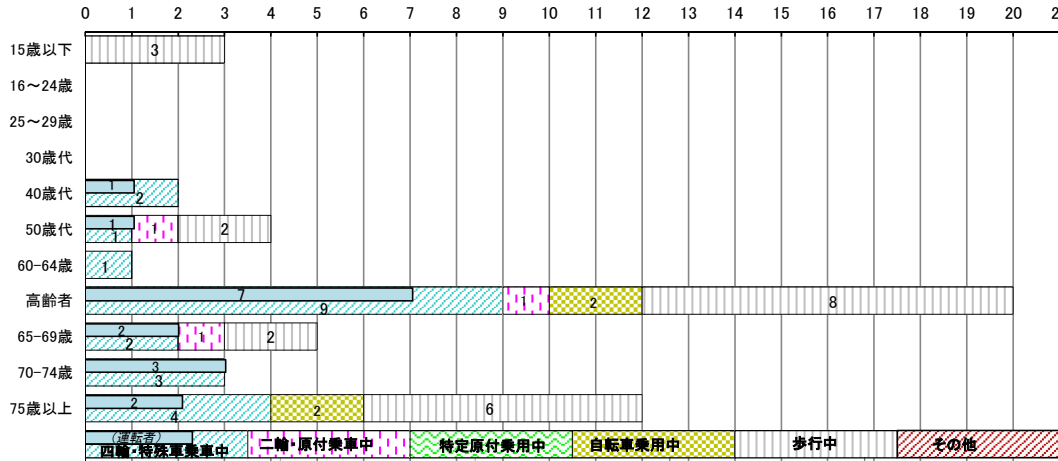
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	4	1	7	4	2	5	7	30
構成率(%)	13.3	3.3	23.3	13.3	6.7	16.7	23.3	100.0
過去5年構成率	14.7	10.3	14.1	10.3	15.8	20.1	14.7	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者が20人(66.7%)、次いで50歳代が4人(13.3%)となっている。

四輪乗車中、歩行中の死者数が各々13人(43.3%)となっている。

死者数(人)



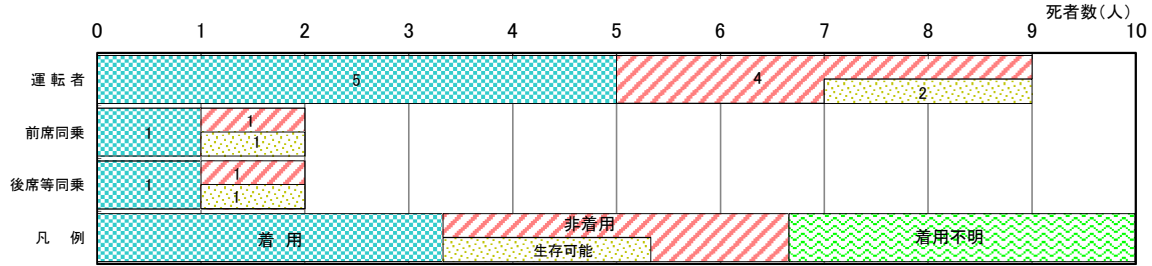
状態別 年齢層別\		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数					3		3	10.0	3.3
16~24歳	死者数									2.2
25~29歳	死者数									2.2
30歳代	死者数									6.0
40歳代	死者数		2					2	6.7	10.3
50歳代	死者数		1	1		2		4	13.3	13.0
60~64歳	死者数		1					1	3.3	8.2
高齢者	死者数		9	1		2	8	20	66.7	54.9
65~69歳	死者数		2	1			2	5	16.7	10.3
70~74歳	死者数		3					3	10.0	6.5
75歳以上	死者数		4			2	6	12	40.0	38.0
計	死者数		13	2		2	13	30	100.0	
	構成率		43.3	6.7		6.7	43.3	100.0	—	—
	過去5年構成率		54.3	8.2		4.9	31.5	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者13人中、シートベルト非着用者は6人(46.2%)となっている。  
非着用者のうち4人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明	
		計	運転者	同乗者		計	運転者	同乗者			
令和6年	13	7	5	1	1	6	4	2	1	1	1
構成率(%)	100.0	53.8	71.4	14.3	14.3	46.2	66.7	50.0	16.7	100.0	16.7

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が5人(83.3%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルメット着用				1	1	1	4	1	3			7
構成率(%)				14.3	14.3	14.3	57.1	14.3	42.9			100.0
ヘルメット非着用				1			5	1		4		6
構成率(%)				16.7			83.3	16.7		66.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者5人の損傷加害部位をみると天井、座席が各々2人(33.3%)、フロントガラスが1人(16.7%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明
ヘルメット着用				1		1			1	1	3	
構成率(%)				14.3		14.3			14.3	14.3	42.9	
ヘルメット非着用				1				2	2			1
構成率(%)				16.7				33.3	33.3			16.7
運転者				1				2				1
構成率(%)				16.7				33.3				16.7
同乗者									2			
構成率(%)									33.3			

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。